

もみじ

—広島県山岳連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

広島県山岳連盟 自然保護研修会報告

8・27～26 吾妻山周辺で自然観察 次年度は岡山県開催予定

期日：2017・8・26{土}～27(日)

会場：吾妻山・庄原市立比和自然科学博物館・
「かさべるで」（懇親会及び宿泊）

研修内容

- 1 日目 1 吾妻山周辺の自然観察
- 2 古事記からの比婆山伝説の紙芝居
- 3 庄原市立比和自然科学博物館・地学分館イ
ラストレーターによる説明見学

2 日目 比婆帝釈国定公園内ハイキング

研修概要

昨年の全国自然保护指導員総会において、「他県では地域ブロックごとに情報交換をしている」との情報を受けて、中国地方でもどうか？と試みる事となった。まずは広島県自然保护研修会に他県に参加していただく形で呼びかけた。遠方でありながら、島根県、山口県、岡山県からのご参加をいただき、広島県も志の高い参加者で開催することができた。

8月 26 日(土)天候晴れ

第 1 ステージの吾妻山周辺では、参加者 33 名は A 班、B 班の 2 班に分け、A 班が植物の名札をつけ、B 班の最終が回収する形で、西岡、津秋インストラクターに自然観察の説明を受けた。

比和地区の役牛が放牧されていた頃とはキンポウゲ等減り植生が変わっている事、吾妻山の 3 つの池は鉄穴流しの水源用の人工池であること。ひょうたん池はモリアオガエル生

の為、魚は入れていない。行基の寺床だったところは、まだ木が生えていない。黒く盛り上がった土のモグラ塚が多くあった。モグラは 1 日に身体の半分の量のエサ（主にミミズ）を食べるとか。1,180mあたりに水がにじみ出ているところでは、カスミサンショウウオを見る事ができた。山頂から眺めた大善原は、だんだん木が生え、植生の遷移が進んでいる。吾妻山は山頂まで猪による土の掘り返しが見られた。…等観察しながら 100 種近い植物を教えてもらった。

第 2 ステージの比和自然科学博物館では、ツイバラの会の「比婆山伝説」を生解説、生音響効果で紙芝居をしていただいた。ざっくりと日本誕生からの比婆が見えてきた。

吾妻山では熱帯性の貝類の化石を算出して備北層群の露訪頭がみられ、自然博物館での地学館では、1600 万年前は海だったという証明の象徴のクジラの化石や三葉虫等の化石があり、しかも触って観察できた。本館では中国山地の自然と、生活や文化に焦点を当てた展示と、モグラの収蔵率日本一の展示。西岡、津秋さんの二人の名ガイドの分かり易く興味深い説明をしていただいたおかげで驚きと感動の価値ある研修となった。

（写真は運営委員会風景 9・13 横川事務所にて）



宿泊所の「かさべるで」では汗を流し、宇山名司会により、情報交換と懇親会で盛り上がった。

今後他県との情報交換として、つぎは岡山県に受け持つていただくことになった。

8月 27 日（日）天候晴れ

7 時からの朝食後吾妻山ロッジに移動・9 時 A B の 2 班に分かれて吾妻山から大膳原へ。素晴らしい無人小屋が設置されているのは島根県である。鳥帽子山へゆっくりと登る。雑木林でブナもまだ若い。たたらの頃、燃料としていたからだろう。ズーとほおっておくと陰樹が優勢な遷移となりブナ林の極相林となるはず…とレクチュアで休憩する。鳥帽子山頂では紙芝居で勉強した鳥帽子岩、条溝石を確認してイザナミが眠る御陵へ移動する。鳥帽子、御陵の鞍部から登りは天然記念物のブナ林です。御陵の木陰で昼食をとり、昨年「県民ハイキング」で利用してきた移動トイレの紹介。太鼓岩、産子の岩を確認して急坂の比婆古道を下る。下山口から車移動で吾妻山ロッジに帰った。14 時閉会式で解散する。

フォト俳句

秋うらら 雲ゆうゆうと 木曾路かな

俳句写真 江種幸男（福山山岳会）



第 5 回登山教室報告

日時：8月 26 日（土）～28（日）

形態：テント泊山行

山域；吾妻山・比婆山連峰

人数：11 名（スタッフ含む）

2017 年度 1 年生の第 5 回目は、テント装備を担いで距離を歩くという事で比婆山に行ってきました。今回も暑い中の山行でしたが全員計画通り歩きました。（指導部 森本覚）吾妻山、比婆山縦走

登山教室 1 年生 新宮原 正美

8 月 26 日、27 日「テントを担いで距離を歩く」をテーマに吾妻山、比婆山連山を縦走した。天候に恵まれ、暑いには暑いが前月ほどの蒸し暑さはない。とはいえた私は前月、熱中症気味になった反省から初日、半そでにした。

六ノ原からブナ林の中の登山道を登り鳥帽子山をそれで大膳原に出、大膳原の小屋を確認後、吾妻山に登る。この往復が初日。

行きは大膳原から吾妻山への登り、帰りは大膳原への登りがつらかったが、六ノ原への下りに通ったスキー場内の砂利道は、疲れた体にとってはかなり長く傾斜が強く感じられるものだった。キャンプ場入口で幾田さん合流。

テント設営後は、手分けしての食事作り。私は毎度、あまり戦力になっていないが、皆さん、それぞれに作業がすすみ、立派な夕食ができる。8:00 頃、小家石さん合流。キャンプ場って助かる。水が使えるし後片付けも楽だ。トイレも併設で言うことがない。

27 日、4 時起床の 6 時出発、今日のコースはほぼこの 5 月にあったスカイランのコースでもある。最初の牛曳山は登山道がかなり痩せている箇所がある。民有地だそうだ。道理で他の山なみの登山道と管理が違う。この足場の悪い狭い登山道であえて休憩を取ったのは危険個所でのザックの降ろし方、背負い方の注意をするため、必ず山側に向いて。続く伊良谷山では神崎さんが手の甲を虫に咬まれ、森本さんからポイズンリムーバーで吸い出してもらっていた。かなり腫れている。油断できない。

ポイズンリムーバーにもいろいろ種類があるものだ。毛無山では足の運び方について森本さんより注意。ズボンのすその汚れはどうか？

良く汚れている人は冬季、わかん、アイゼン着用と

なった時、ズボンを割くし、引っ掛けで転ぶこともある。平行に足を置くようにとのこと。

出雲峠を経て鳥帽子山に着いたところで、時間に余裕が生じ、岩登りの練習をすることができた。また山頂では複数の大人数のパーティーが休んでおり、ベテランさんはそれぞれ知り合いのようだった。

比婆山御陵をへて越原、池の段、立鳥帽子山、立鳥帽子の山道は日差しを遮るものもなく暑さに閉口する。

立鳥帽子を過ぎると六ノ原への長い下り道となる。私は立鳥帽子頃から疲れを感じ、六ノ原への長い下りでは足が腫れて一刻も早く到着することを願った。

ようやく六ノ原に到着。

身なりを軽くし、久保田さんのスイカをみんなで頂く。疲れた体には甘いスイカが嬉しい。こんな重いものをしっかり冷やしてくれた久保田さんに感謝です。



写真提供 森本覚

感想文

煤井谷、奥三段峡沢登り

登山教室 2 年生 宮本 政明

2 年生 8 月の実技講習は沢登り。昨年の初体験から 1 年、この日を楽しみに待っていた。参加者 10 名。初日に煤井谷、2 日目は奥三段峡を登った。

煤井谷は初めての沢。境内を通り抜けて入渓する。浅く緩やかな流れに足を入れる。沢靴を履いているので、水温をすぐには感じない。徐々に深い場所へ向かう。ジワジワと浸み込んでくる水は思った以上に冷たい。程なく現れる背丈より高い岩。幅の狭い沢は流れを絞り、勢いよく水を落としている。流れに手を入れ、岩を登る。徐々に身体も濡れてくる。綺麗な淵で肩まで浸かる。冷たい。長くは浸かれない。

この沢には大きな滝が二つあり、ビレイをして頂き登った。一つ目は、12m の滝。他のグループと重なったので、水の流れていない右側を登った。先行者のルートを参考にすると、ここはスムーズに登る事が出来た。

二つ目は、8m の滝。同期の女性二人が先に登った。水量の多い場所まで行くと進めなくなり、しばらく水に打たれていた。体に当たった水が飛び散る様子は、体から水が噴き出している様に見えた。「凄い……」、ここは迷わず別ルートを選択。

この後、沢幅はどんどん狭まり林道へと抜ける。戻りは、登山道を沢へ下る。クマザサと枝葉で覆われた道は、踏み跡が見えない。先頭を歩いたが、何度か道を外れてしまった。踏み出すたびに現れる葉が気になって仕方がない。昔、かぶれると教わった葉に似ている。念のため、ゴム手で払いながら歩いた。17：30 車に戻る。計画より遅くなつたが、日没までに帰れてよかったです。

2 日目は、奥三段峡。ここは昨年も来ているので、記憶を辿りながら登った。雲岩・蛇淵・お岩淵、今年は少しだけ余裕を持って対処する事ができた。キャンプ場へ着いたのは 15：30。計画より 45 分早かった。天候に恵まれた二日間、全員が無事に沢登りを終える事が出来ました。ありがとうございました。

感想文

船上山登山口より出発

登山教室 2 年生 平川 厚子

標高 400m 船上山東坂登山口より出発。天気が良く

て日差しがきつい。気温は高かった。船上山から勝田ヶ山までは長く感じた。多量の水を歩荷した M さんの足が轢りテーピングにて手当。岩稜歩き、軽量化とのことで私は行動水を 1500ml ポカリ 500ml 合わせて 2L、足りるかしらと少々不安になる。勝田ヶ山を過ぎて岩稜帯を指導員の指示を受けながら慎重に進む。ガスのはれた周りの景色が心地良い。甲ヶ山から岩壁を下る。何事にもどんくさい私はロープで確保して頂き下る。その後も水が染み出て滑りやすい所、岩をトラバースのところがあった。何れも指導員のサポートで通過することができた。小矢筈の中腹から甲ヶ山を振り返ってみるとあの岩稜を下ったのかと自分自身驚いた。矢筈ヶ山に到着した際、私は自分の行動水を全部飲んでいたので共同装備の夕飯用に持参した水を飲んだ。避難小屋から水場が遠いので各自夕飯用の水を持参した。多量の水を歩荷して足が轢った方に申し訳ない気持ちだった。何処からか夕飯食べんでええよと声が聞こえたような、、今までのテント泊では近くの水場に水が充分にあったし日帰り山行では下山すると自動販売機があった。暗くなった道をヘッドライトで照らしながら下る。直ぐ後ろの指導員のランプはめちゃくちゃ明るく感じる。エッ、電池？と調べてみなくては思いながら大休憩避難小屋に到着。先客は男性 1 人だったので私たちも小屋に宿泊することができた。夕食はフリーズドライ（親子丼）にいつもの B ハムとピーマンとジャコの炒め物を混ぜ合わせてとても美味しかった。翌日の行動水は指導員の水を 2L 分けて頂いたので安心して眠ることができた。

翌日、親指ピークは私たちの進む方向から見ると大きな岩があるだけのように見える。下りはシートベンチして指導員にロープで確保をして頂き下る。腕が伸びていないので自分で足元が見えない。（後日、他の人が私の真似をして見せてくれた。）眺望の良い中、行く先々の山が見え振子山、分岐の道標、象ヶ鼻。気持ちの良い山歩きだった。象ヶ鼻では昨日から歩いて来た山々を見ることができた。象ヶ鼻を少し登って砂すべりの所に進んだ。私は恐る恐る、滑りこけないようストックを使って行く。超上手かったのはスキーの

きる M さん。ストックさばきが超かっこよかったです。足の轢った時の顔と違って満面の笑みでした。

一般登山道に出てたくさんの登山客に出会った。上宝珠越から下宝珠越、私にはかなり歩き難い道だ。深くえぐれている所で私は上方を通る癖がある。前にも教えて頂いたことだが少しでも落ちないように下方を歩くようにと。少しずつ教えられたことが頭の中に留まるようになった。大神山神社について皆さんホットされたようだった。指導員の方々にはいつも丁寧な指導、サポートをして頂きありがとうございます。また 2 年生の方々には迷惑ばかりおかけしています。今回の岩稜歩きを無事に終えることができました。ありがとうございました。



写真提供 森本覚



写真提供 久保田征治

第 6 回登山教室報告

日時：9月 24 日（日）

形態：日帰り山行

山域：クマン岳～古鷹山

人数：9名（スタッフ含む）

読図しながら歩くという事で江田島へ行ってきました。天候がよく見通しがきいたのでクロスベアリング法を学習しました。（指導部 森本覚）

薮こぎ体験

登山教室 1年生 神崎 直剛

登山教室1年生9月の山行は、江田島の古鷹山を読図しながら歩きました。天候は、快晴ではないものの遠くまで見渡すことが出来、風もなく、本日課題のクロスベアリングにもってこいの日和になりました。

見晴らしの良い岩の上で方法を学び、おおざっぱの性格の私は、地図上に線を結ぶと、とんでもない所で線が交差してしまい、コンパスの微妙な角度のずれで全く変わってしまうことが判りました。桑実さんが、顔の前でコンパスを合わせているのを見て、私も真似してみたら結構いい調子で現在地が確認できました。

ソロプチミストの森からは、踏み跡はなく道が荒れて、道標の赤テープは何処にもありません、コンパスに頼るほかありません、いよいよ読図の発揮の場です、その為1年生が前を歩きました。

東屋の所で右折すべきところ、直進してしまい、続いて、森本さんから「小ピークの所を右折ヨ！ 小ピークを見落とすなヨ！」と教えを受け、小ピーク・小ピークと思いながら・・新宮原さんが「こんな所にビニールテープが・・」と言いながらも直進してしまいました。

後で教えてもらったのですが、あのビニールテープは、去年上原さんが目印にと仕掛けられた物だそうで、目印のビニールテープを確認した先輩方は、1年生がどこまで行くのか心配されたそうです。

いやはや、地図で10m間隔の等高線と実際の地形とは、まだまだマッチしません、実践で経験をつむしか方法はありませんね。

今回写真撮影の為、先頭を歩くことを敬遠していたら、因りによって最後の藪漕ぎで、先頭の役目が回っていました。

「おいおい道がないよ～どっちに行けばいいの」・茨をはさみで切りながら・「先頭誰か変わって～」と弱音を吐きかけた時、森本さんに「竹やぶが出てきたから里は近いよ」と励されました。程なく里に下りる事が出来、驚きました、これも経験の1つなんだな～と思いました。

これからも頑張りますので、皆さんよろしくお願ひします。



写真提供 久保田征治

クライミングスクール感想文

2017年9月3日

クライミングスクール 藤井

三倉岳にて、門前払い、七五三、ひなまつりなどに挑戦しました。前回スクールから2ヶ月のブランクがあつたため感覚を忘れており、恐怖感も大きかったです。そのためか力が入りすぎていたようすぐに疲れてしまいました。継続的に通う必要があると感じました。

スクールに通うまでは我流で試行錯誤しながらやってましたが、スクールでは理論的に順序だてて教えていただき、非常に得るものが多いと思います。

スクールもあとわずかとなりましたが、可能な限り出席してバリエーションルートに挑戦できるよう基本的な技術を身に付けたいと思います。

岳連短信**1、第48回八公山山岳祭(10月29日)マラソン**

(一社) 広島県山岳連盟 国際部長 松島宏 様

いつもお世話になっております。今年はとても暑くて辛抱しにくい夏だったと思いますが、いかがお過ごしですか?感動的な行事である比婆山国際スカイランの25回記念大会に招待していただきて、真にありがとうございました。いろいろお世話になりました。さて、今年の第48回八公山岳祭の日にちが決まりましたので、八公山岳マラソン(2017年10月29日)のことをお知らせしたいと思います。マラソン以外にもいろいろな行事が行いますので、広島県山岳連盟からもお越しくださったら、素晴らしい八公山岳祭になると思います。監督の一名、男子の選手一名、女子の選手一名、合わせて三名様は韓国にお越しくださった後は、大邱広域市山岳連盟に任せてください。今、北朝鮮のことで心配でしょうが、簡単にひどいことが起きるとは思いませんので、よろしくお願いします。山岳マラソンがある10月29日を含めて(マラソンは日曜日です)4日間、つまり金・土・日・月の予定はどうでしょうか?5月に大邱広域市山岳連盟を暖かく、そして家族のようにしていただきて本当にありがとうございました。広島県山岳連盟の京オ昭会長をはじめ、役員の皆さんによろしくお願いします。ありがとうございました。 大邱広域市山岳連盟 会長 車 鎮哲

2、登山に出かけた家族を探しています

氏名:吉岡憲之 70歳 住所:広島市佐伯区在住
身長167cm 体重70kg 2017.8.12(土) 朝庄原方面の登山に行く都言って軽トラックで出かけ行方が判りません。(地図広島県高野町 軽トラック駐車場所 国道432号線猿政林道入口)
庄原警察署生活安全刑事課 電話0824-72-0110

**3、第5回可部連山トレイルラン in あさきた
11月5日(日)開催**

開催場所:中国電力南原研修所

走路:県立自然公園南原峡 福王寺県立自然歩道

日時:11月5日(日)9:00スタート

主催:可部トレイルラン in あさきた実行委員会

4、寄贈御礼

①筆影451号 2017.10発行(会長積山鈴子)

②会報(福山山岳会) 平成29年10月(登山届の重)

要性 江種幸男・なぜ事故が起きるのか 福原不二雄・山行計画ほか)

5、那須雪崩事故関係新聞記事

日山協 2017.9.29 メールに新聞記事が掲載されています。

①那須雪崩事故発生から半年 指導者向け手引書提言本部との連携強化も(下野新聞 2017.9.27)

②「冬山禁止」是非も議論 国の有識者発会合(下野 2017.9.27)

③2010年雪崩「共有していれば」那須事故きょう半年犠牲生徒母が調査(読売 2017.9.27)

④防止策中心の議論に疑問高校教職員向けに新研修(読売 2017.9.27)

⑤再発防止広がる取り組み 有識者会議を発足(毎日 2017.9.27)

⑦那須雪崩6か月 教え子ら毛塚さんの姿伝える手紙父「生きた証残したい」(産経 2017.9.27)

⑧読者登壇 雪崩から半年風化防ぎたい(下野 2017.9.27)

6、第57回 全日本登山大会 京都(予告)

日時:平成30年(2018)6月16日(土)~18日(月)

主催:日本山岳・スポーツクライミング協会

主管:京都府山岳連盟

開催地:京都府・京都市・亀岡市

大会目的：全国の山や自然を愛する人たちを、古都を取り巻くトレッキングコース「京都一周トレイル」に迎え、自然と歴史に触れ合う中で、安全登山とフィールドを守る大切さを体感し、併せて参加者の親睦をはかる。

日程：第1日目 6月16日（土）

開会式及び記念講演（ガレリアかめおか）

講演テーマ「やま、過去・今・未来…

パネルデスカション

抽選会

第2日目 6月17日（日）登山行動

閉会式及び交流会

参加費 33,000円（1名）

広島の山①

順位 山名 高さ 旧市町村名 5万分1地図名

1、	恐羅漢山	1,346,4	戸河内	三段峡
3、	旧羅漢山	1,334	戸河内	三段峡
2、	冠山	1,339	吉和	津田
4、	十方山	1,318	吉和	三段峡
5、	立烏帽子山	1,280	西城	多里
6、	池ノ段	1,279	比和・西城	多里
7、	広高山	1,271	吉和	津田
9、	道後山	1,268	西城	
10、	猿政山	1,267	高野	頓原
11、	比婆山	1,260	比和・西城	多里
12、	岩樋山	1,260	西城	多里
12、	竜王山	1,253	西城	多里
13、	毛無山	1,252	比和・西城	多里
14、	吾妻山	1,238	比和	多里
15、	丸子頭	1,236	戸河内	三段峡
16、	鳥帽子山	1,225	比和・西城	多里
17、	臥龍山	1,223	芸北	木都賀
18、	阿佐山	1,218	芸北	大朝
19、	大万木山	1,218	高野	頓原
20、	猫山	1,195	東城・西城	多里
21、	天狗石山	1,191	芸北	大朝
21、	井西山	1,187	比和・西城	庄原
23、	砥石郷山	1,177	戸河内	三段峡

- 24、三坂山 1,169 吉和 三段峡
25、三ツ石山 1,163,4 芸北 大朝

*高さ以下切り捨て

平成29年10月事業計画

10・1(日)～3(火) 第72回国民体育大会山岳競技（愛媛西条）

10・1(日) クライミングスクール（天応鳥帽子岩）

10・5(木) 登山教室机上（三篠公民館）

10・7(土) 山岳辺境文化セミナー（西区民文化セミナー）

10・14(土)～15(日) 登山教室②⑦（剣山～三嶺）

10・21(土)～22(日) 登山教室①⑦（三段峡～恐羅漢から～十方山～三段峡）

10・25(水) 岳連例会山行（7）（広高山～額々山）

10・27(金)～29(日) 中国全国高校登山大会（広島県民の森）

山の風景 79

聖湖湖畔より

2016・7・27 写真提供 森 智昭（ひこば



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など

気軽に寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

題字デザイン 今村みづほ 編集 仲井正美